

委員会審議	平成29年6月15日
-------	------------

申請者	病理診断部長	南 優子
1	肺腺癌のEGFR変異のheterogeneityに関する研究	
研究の概要	EGFR変異、増幅はすべての腫瘍細胞に一律に起こらない、という仮説をたて、研究を行う。特に耐性変異として知られるEGFR (T790M)変異が治療前から検出された切除材料についてEGFR変異を解析し、陽性細胞のheterogeneity(多様性)について検討する。	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

をかいい

z

委員会審議	平成29年6月15日
-------	------------

申請者	呼吸器内科医師 呼吸器内科医長	後藤 瞳 三浦 由記子
2	膠原病を除く慢性繊維化性間質性肺炎のCT画像診断における人工知能の有用性に関する多施設共同研究	
研究の概要	慢性繊維化性間質性肺炎における胸部CT画像データと、他職種での議論による統合的なアプローチによって得られた最終診断を人工知能に学習させ、機械学習し構築された人口知能を、間質性肺炎に精通した放射線医師の診断、肺を専門としない呼吸器内科医師の診断とで比較する。それにより人工知能のCT画像診断における有用性を明らかにする。	
判定	不承認	本審査は不承認

委員会審議	平成29年6月15日
-------	------------

申請者	呼吸器内科医長	根本 健司
3	肺非結核性抗酸菌症診断における気管支鏡検査の意義に関する後方視的検討	
研究の概要	PNTM診断における気管支鏡検査の有用性を検討するために、胸部画像や抗MAC抗体の結果からPMTMが疑われた症例に対する気管支鏡検査の診断率や治療介入の有無、治療反応性について後方視的に検討したい。	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

委員会審議	平成29年6月15日
-------	------------

申請者	看護部 看護師	上野 愛子
4	呼吸器専門病院における摂食嚥下障害患者へのサポート体制の構築と今後の在り方について	
研究の概要	当院は、呼吸器疾患の専門病院であり、誤嚥時の肺炎発症リスクの高い患者が多く、依頼を受けた患者に対し、食形態や摂食姿勢の調整、口腔ケア方法の指導、経口接種再開可否判断を主に行ってきた。食形態についての相談件数が増加している。特に、退院後の食環境と現在の食事内容が乖離し退院できない症例や、経鼻チューブや中心静脈栄養などの医療処置があるために退院先の選択肢が限られてしまう症例が増えてくる。そこで、平成28年度に嚥下回診依頼を受けた患者の特徴をもとに、当院の摂食嚥下障害患者へのサポート体制の在り方を検討する。	
判定	条件付承認	本審査は全員一致で承認された

委員会審議	平成29年6月15日
-------	------------

申請者	看護部 看護師	上野 愛子
5	JNP・認定看護師発掘プロジェクト	
研究の概要	JNP・認定看護師が育たない理由として、資格取得や資格維持に係る費用、病院からの補助、受験資格や必要な学習内容について情報提供することで、資格取得に挑戦しようとする人材が出て来るのではないかと考え、まず、現在の病院スタッフへの情報普及状況と、資格取得に対する考えをアンケートにて確認し、必要な情報を提供後、再度アンケートを行う。	
判定	条件付承認	本審査は全員一致で承認された

委員会審議	平成29年6月15日
-------	------------

申請者	診療看護師	川崎 竹哉
6	呼吸器外科手術患者におけるPICCの使用経験	
研究の概要	診療看護師が、医師の指示のもとPICC挿入から抜去までを担当するシステムを作成し、周術期におけるPICC挿入の利点・欠点について検討する。	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された